

保証書

持込修理 無料修理規定



保管用

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	電撃殺虫器			★お買い上げ日： 年 月 日
型番	OBK-GH106W	品番	08-0210	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	★お名前 様			
	★ご住所 〒			
電話 ()				
修理メモ				
販売店	★住所 店名 電話			

印

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

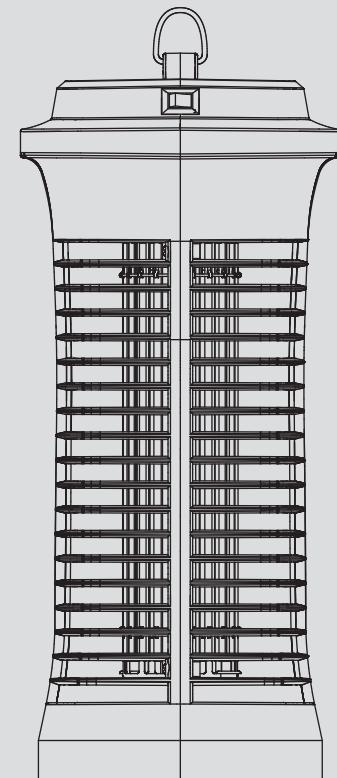
製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006	048-992-2735
電話 平日 9:00~17:00 受付 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます	
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

取扱説明書 保証書付

電撃殺虫器

OBK-GH106W

この度は、当商品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。また、保証書として大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1
各部の名称	2
設置方法	3
ご使用方法	3
お手入れ方法	4
誘虫灯交換方法	5
誘虫灯について	5
故障かな?と思ったら	6
製品仕様	6
保証書	

安全上のご注意 必ずお守りください

■人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

!**警告**

- 必ず乳幼児の手の届かない場所に使用及び設置してください。
本体外枠は虫類が通過できるように必要な隙間を取っているため、乳幼児の指が通り、電撃格子に触ると、感電やけがを負う、重大事故の原因となります。
- 本品や周囲で可燃性ガスを含む殺虫剤やスプレーなどは使用しないでください。
電気火花で可燃性ガスに引火して、爆発、火災、やけどなど重大事故の原因となります。
- 外枠が破損した場合は直ちに使用を中止してください。
感電するおそれがあります。
- 本体の内部に異物を入れないでください。
感電や故障の原因となります。
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。
故障や火災の原因となります。
(傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしないでください。)
- コンセントの定格を超える使い方をしないでください。
たこ足配線で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- 不安定な場所や、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
落下して、火災・けがのおそれがあります。



禁止



水濡れ禁止



禁止



必ず守る

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。
(下記は図記号の一部です)



してはいけない内容です。



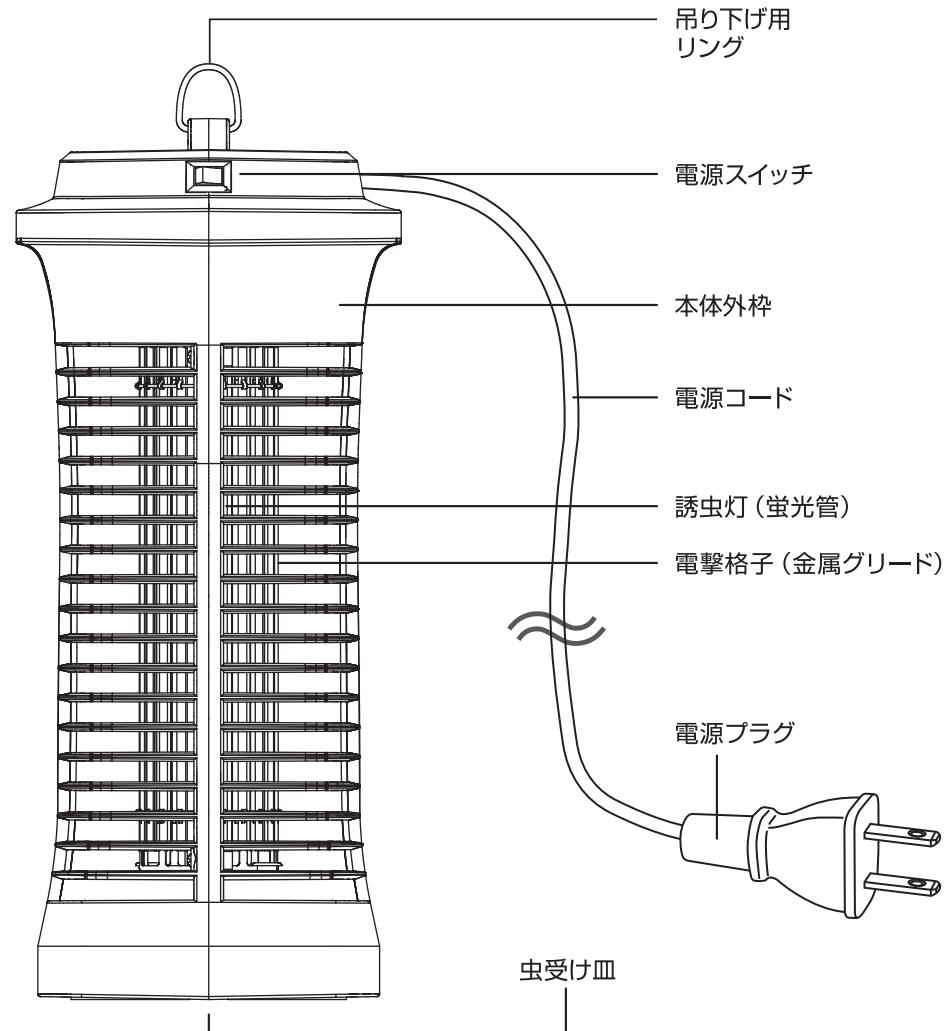
実行しなければならない内容です。

! 警告	
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●濡れた手で電源プラグを抜き差しをしないでください。 感電の原因になります。 ●電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。 電源プラグにほこりがたまると、湿気などで火災の原因になります。 ●電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。 差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。 (傷んだ電源プラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。) ●電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持ってください。 電源コードを引っ張るとコードが破損し、火災・感電のおそれがあります。 ●異常を感じた場合はすぐに電源プラグを抜いてください。 本体が破損した・煙が出ている・異臭がする・異常に熱いなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。 (すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。) ●清掃・点検をせずに長期間使用した場合、まれに発煙、発火、感電のおそれがあります。

!**注意**

 水濡れ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●温氣の高い場所や屋外で使用しないでください。 本品は防水仕様ではありません。水のかかる場所や高温、多湿の場所では使用しないでください。故障の原因となります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●電撃殺虫用途以外には使用しないでください。 感電や故障の原因となります。 ●本品に衝撃を与えないでください。 破損や故障の原因となります。 ●電源は交流100V以外では使用しないでください。 故障、発火の原因となります。 ●誘虫灯を長時間直視しないでください。 目に悪影響をおよぼすことがあります。 ●温度の高くなるものを器具の近くに置かないでください。 火災の原因になることがあります。 ●温氣やほこり、油煙の多い場所では使用しないでください。 火災・感電の原因になることがあります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は、電源プラグを抜いてください。 通電状態で行うと感電の原因になることがあります。 ●使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

各部の名称



〈付属品〉



吊り下げ用
チェーン



専用ブラシ

設置方法(屋内専用)

吊り下げ用リングの変形に注意し、必ず本体の重量に耐えられる強度の場所に、付属の吊下げ用チェーンを使用し落下しないよう確実に設置してください。
必ず地面から1.8m以上高い場所に設置してください。
本体重量：約0.6kg



必ず乳幼児の手の届かない場所に使用及び設置してください。
本体外枠は虫類が通過できるように必要な隙間を取っているため、乳幼児の指が通り、電撃格子に触ると、感電やけがを負う、重大事故の原因となります。

ご使用方法

- ①安定した場所に確実に設置した後、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ②電源スイッチをONにすると、誘虫灯が点灯します。
(電圧の低いところでは約5~6秒かかる場合もあります。)
- ③誘虫灯の光におびき寄せられた虫を高電圧で電撃殺虫します。(薬剤は一切使用しません。)
- ④使用しない時は、電源スイッチをOFFにしてください。



誘虫灯に誘引されない虫もあります。

お手入れ方法

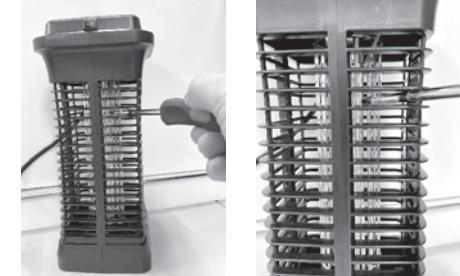


電源プラグを抜いた後も電撃格子間に高電圧が帯電しています。お手入れする前に、必ず「電撃格子の帯電除去方法」を参考にして、帯電除去を実施してください。(感電のおそれがあります。)
電撃格子の帯電除去時には必ず持ち手(グリップ)と先端(金属部)が絶縁された絶縁ドライバーを使用してください。(持ち手が一体になった金属製ドライバーを使用すると感電する危険があります。)

電撃格子の帯電除去方法

(電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認してください。)

- ①絶縁ドライバーを使用し、電撃格子任意の2線間を同時に触れて、ショートさせます。(電撃格子をショートさせないと帯電除去の効果がありません。)
- ②パチパチッと電気火花を出させ、電撃格子の帯電を除去してください。(電源が切れた状態で長時間使用していない場合は電気火花が生じない場合があります。)



■虫受け皿の掃除

虫の死骸は、本体底面の虫受け皿に集められるので、こまめに掃除してください。



虫受け皿を外す方法

- ①作業する前に必ず本体の帯電除去を行ってください。
- ②本体下に虫受け皿があります。回して外します。
- ③虫受け皿に溜まった死骸を付属のブラシで掃除してください。

■電撃格子に残った虫の死骸処理

- ①必ず本体の電源を切ってください。(電源プラグをコンセントから抜いてください。)
 - ②作業する前に必ず本体の帯電除去を行ってください。
 - ③付属のブラシで虫の死骸を取り除いてください。(虫が付着しますと電撃殺虫器の性能が低下する場合があります。)
- ※付属ブラシ以外では行わないでください。(電撃格子の変形や感電する場合があります。)

誘虫灯交換方法



① 帯電除去後(P4参照)、虫受け皿を外す
虫受け皿を外すと、本体底部に誘虫灯用ソケットが見えます。



③ 手で誘虫灯を引き抜く
誘虫灯の片側が見えたら、手で誘虫灯を引き抜きます。

⑤ 本体奥側にある誘虫灯ソケットの向きと誘虫灯の口金向きを注意しながら、新しい誘虫灯をゆっくりと差し込みます。完全に本体奥側のソケットに誘虫灯を差し込まないと、使用できませんのでご注意ください。

⑥ 誘虫灯を差し込んだら、先ほどと逆の手順で外した誘虫灯ソケットを誘虫灯の口金向きを注意しながら被せるように取り付け、2か所の固定ネジをしっかりと止めます。

⑦ 最後に虫受け皿を戻します。

お客様ご自身での交換が困難な場合は、弊社お客様相談室までご連絡ください。



② 固定ネジを外す

プラスドライバーで、2か所の固定ネジを外してください。誘虫灯ソケットを手前に引くと外れます。
※誘虫灯ソケットに誘虫灯がくっつき一緒に引き抜かれる場合は、手で誘虫灯の先端を押さえてから誘虫灯ソケットだけを外してください。



④ 新しい誘虫灯を入れる

古い誘虫灯を完全に本体から引き抜き、新しい誘虫灯を入れます。

故障かな?と思ったら

■修理を依頼される前に下記の項目をご確認下さい。

症 状	ご確認内容	処置方法
誘虫灯が点灯しない。	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか?	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	●コンセントに電気が来ていますか?	●他の電気製品を使用して確認してください。
	●誘虫灯がソケットに確実に取付けてありますか?	●誘虫灯をソケットに確実に取付けてください。
	●誘虫灯の寿命ではありませんか? 誘虫灯の両端が黒くなっていますか?	●誘虫灯管を交換してください。 ※シーズン前に誘虫灯管の交換をお薦めします。
誘虫灯は点灯しているのに殺虫しない。	●周囲の照明が明るすぎるのではないか?	●本器より明るい照明器具が周囲にあると虫が集まりにくくなるので、他の照明を暗くしてください。
	●虫の死骸が溜まっていますか?	●電撃格子と虫受け皿の掃除をしてください。
	●一匹も殺虫しない。 「電撃格子の帯電除去方法」にて電気火花が出るか確認をしても電気火花が出ない場合	●高圧が発生していないことが考えられます。お買い求め店または弊社お客様相談室までご連絡ください。



清掃や点検の際は、感電防止のため電源プラグを抜いてください。
お手入れの前には、必ず絶縁ドライバーで電撃格子の帯電を除去してください。

上記の処置を行っても復帰しない場合は、お買い求め店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

製品仕様(屋内専用)

型 番	OBK-GH106W	使 用 誘 虫 灯	6W(FL6BL)
定 格 入 力	100V 50/60Hz 4.5W	本 体 寸 法	(約)幅130×高さ300×奥行130mm*
定 格 2 次 電 壓	DC800V	コ ー ド 長	約1.4m
定 格 2 次 短 絡 電 流	約5mA	質 量	約0.6kg(本体のみ)
付 属 品	吊り下げ用チェーン、ブラシ		

* 吊り下げ用リング除く



誘虫灯交換時に電撃格子を変形させないよう十分注意してください。変形した場合は格子間の間隔が均一になるよう修正してください。(異常放電や捕虫効果の低下や故障の原因となります。)
誘虫灯はガラス製品です。取扱時に破損しないよう十分注意してください。(破損するだけの原因となります。)